



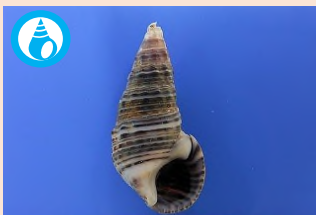
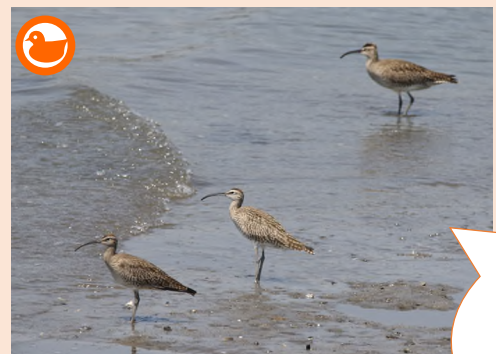
おおたがわ 太田川のいきもの

かんちょういき 感潮域



ひがた 【干潟でみられるいきもの】

干潟(ひがた) 潮が引いたり、満ちたりする場所



ウミニナ



クチバガイ



ヤマトシジミ

チュウシャクシギなど
の渡り鳥は干潟を
休憩場所として利用し
ているよ。

チュウシャクシギ

りく 【陸でみられるいきもの】

ヨシ群落(よしくんらく)



ヨシ



アカテガニ

塩生植物群落(えんせいしょくぶつぐんらく)

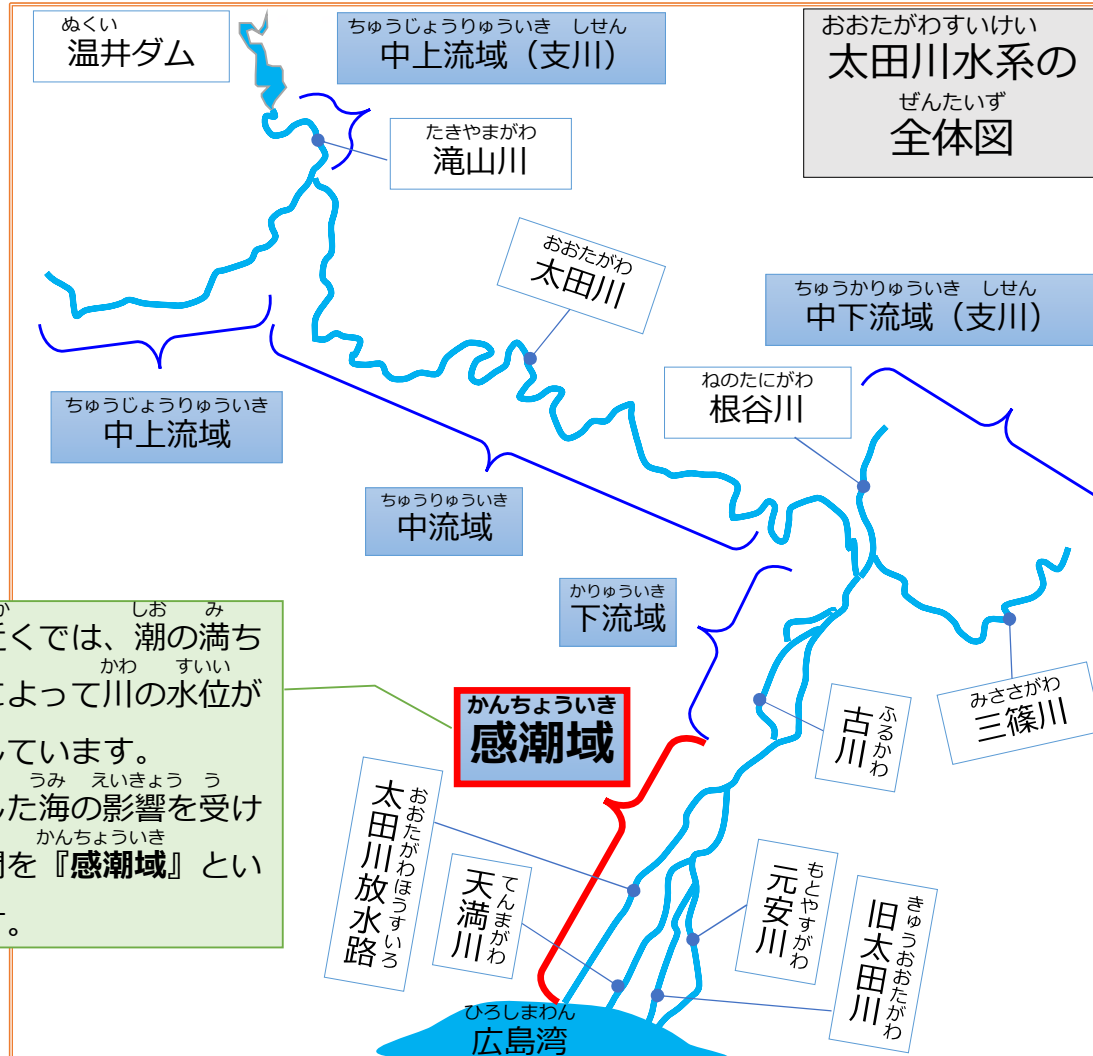
海岸などの周辺に生育する植物



フクド



ハマサジ



海の近くでは、潮の満ち引きによって川の水位が上下しています。こうした海の影響を受ける区間を『感潮域』といいます。

かわ 【川でみられるいきもの】

汽水(きすい) 海水と川の水が混ざり合ったところ



クロダイ、スズキ、マハゼなど、海の魚がすんでいます。



クロダイ



スズキ



クサフグ



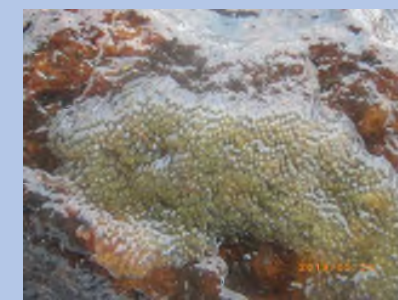
マハゼ



シロウオ

シロウオは普段は海にすんでいて、卵を産むときだけ、川にやってくるよ。

シロウオの卵



川底の石の裏に卵を産みます。

- 魚類
- 鳥類
- 底生動物 (川底にすむいきもの)
- 昆虫類
- 両生類
- 爬虫類
- 哺乳類
- 植物

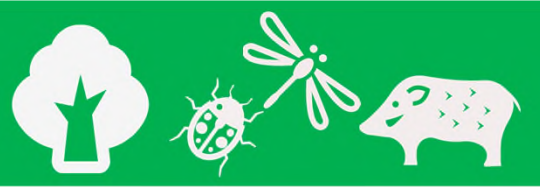
この資料の生き物情報は、太田川河川事務所がこれまでに「河川水辺の国勢調査」で調べた結果を載せています。



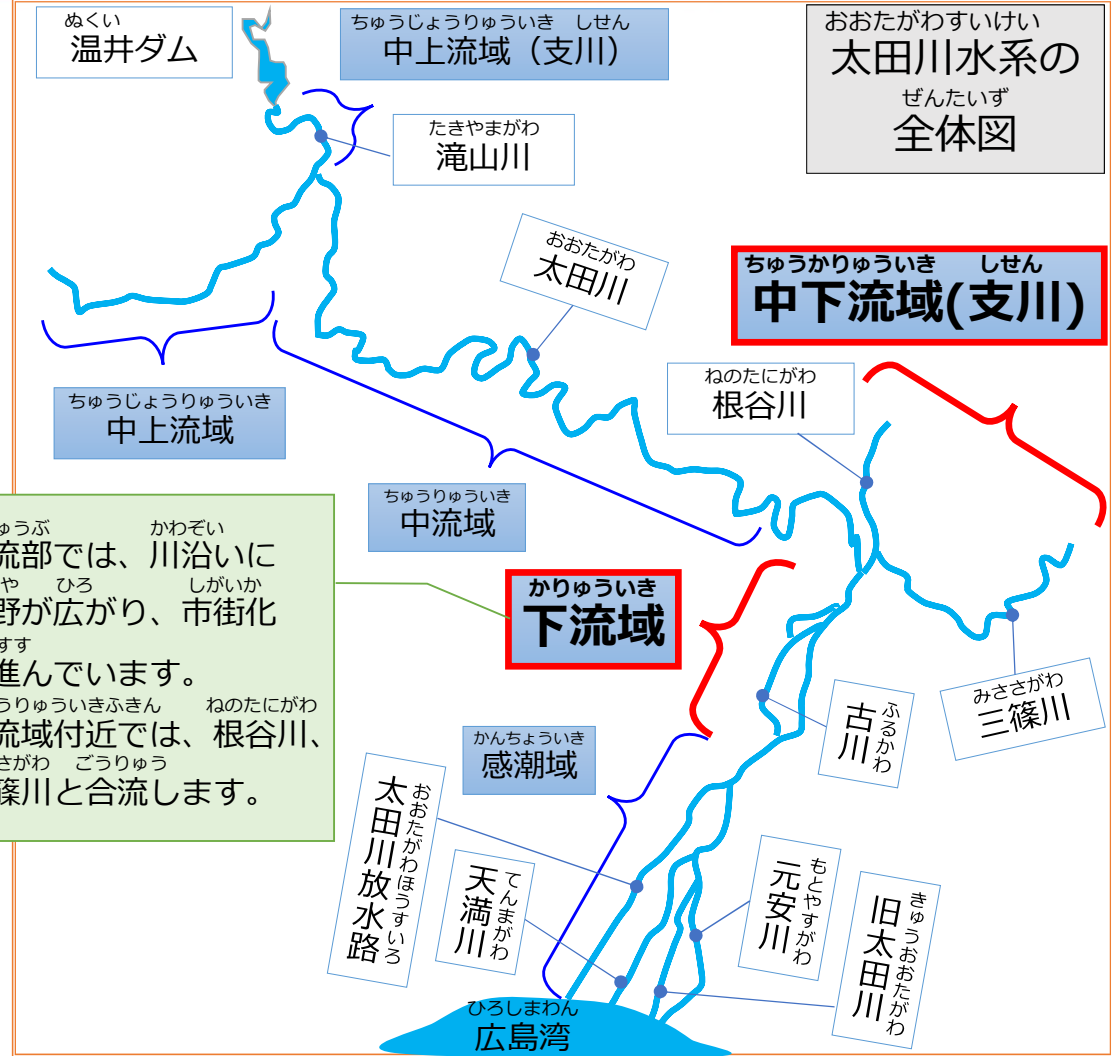
おたがわ 太田川のいきもの

かりゅういき ちゅうかりゅういき 下流域・中下流域 (支川)

しせん 中上流域 (支川)



おたがわすいけい 太田川水系の ぜんたいず 全体図



かりゅうぶ 下流域では、川沿いに へいや ひろ 平野が広がり、市街化 が進んでいます。 ちゅうりゅういきふきん 中流域付近では、根谷川、 みささがわ ごりゅう 三篠川と合流します。

陸でみられるいきもの

ヤナギ林(やなぎりん)

ジャヤナギ

サギ類

なかま りん うえ す つく サギの仲間は、ヤナギ林の上に巣を作っているよ。



ふん だれ ふん この糞、誰の糞???

まる くて コロコロ している

き み た 木の实など食べた ものが混ざっている

ソーセージのような 形

砂礫地(されきち)

イソシギ



池(いけ)・水(みず)たまり

ヌマガエル



川でみられるいきもの

瀬(せ)
すいしん あさ 水深の浅いところ

せ たまご アユは瀬で卵を う 産むよ。

アユ

淵(ふち)
すいしん ふか 水深の深いところ

ナマズ

ワンド
かわ なが 川とつながっている、流れがほとんどない池のようなところ

スナヤツメ

ミナミメダカ



とり かわ りょう 鳥も川を利用して いるよ。

カモメ類

ふゆ こ ばしょ りょう 冬を越す場所として利用

カモ類

きゅうけいばしょ りょう 休憩場所として利用

ミサゴ

すいちゅう さかな つか 水中の魚を捕まえて 食べます。